大阪府市場だより

第 416 号　令和８年１０月３１日
発　　行　大阪府中央卸売市場協会（茨木市宮島 1-1-1 水産棟３階）
連 絡 先　TEL：(072)636-3698、FAX：3699、メール：office@fu-ichiba.jp
Ｕ Ｒ Ｌ　https://fu-ichiba.jp

絵：「えのき」

常駐代表者会議

標記会議（小笠原元功議長）が、10月15日(木)に開催されました。

■府からの報告

口取扱高等
（令和８年９月累計速報値）
前年度比較で、市場全体の取扱高は金額ベースで約29億円、0.6％の増。直接集荷は金額ベースで約４千万円、0.6％の減。

口府議会８年９月定例会質疑

・9月30日の本会議一般質問。自民うらべ走馬議員（茨木市）が市場修繕予算の執行率が低い理由を質問。環境農林水産部長が、令和４・５年度は再整備検討の端緒にあり緊急性の低い修繕を見合わせ、７年度は計量器の取換えや低温化事業に注力し小規模修繕を抑えたこと、今後、再整備の議論を見据え、場内事業者の意見を踏まえ緊急性、重要性の高い修繕を進めることを答弁。うらべ議員が、近年の大雨では、施設への漏水や地下電気設備が浸水するリスクが解消されていない。現場と意思疎通を図り、修繕予算を活用するよう府に要望。

・10月９日の環境産業常任委員会。維新堀江ゆう委員（箕面市及び豊能郡）が、市場再整備に関し、府が市場を設置・運営する意義、R６年３月以降３年間における取組み状況、９年度の場内事業者への意向確認に向けた対応を質問。流通対策室市場・検査指導課長が、生鮮食料品供給や価格形成機能に加え、大規模災害時の食料品確保など広域行政としての府の責務であり、９年度に向けて業界主導の検討に府もオブザーバー参加し、使用料倍率の試算値を示すなど事業者をサポートする旨を答弁。堀江委員が、再整備を、場内事業者がどう判断するかという問題だけにしてはならない、事業者が負担できる使用料はいくらか、府がどこまで関与するのかなど、再整備を成立させるための条件を府が主体的に整える必要があると表明。

・10月９日の総務常任委員会。維新橋本ゆうと委員（福島区及び此花区）が、市が設置・運営してきた市場を府が担うとした大阪都構想の考え方を質問。副首都推進担当課長が、広域事務を府に一元化することを基本に、市場の運営は広域物流や食料供給のインフラとして府が担う旨を答弁。橋本委員が、老朽化、トラックの混雑など様々な課題を抱えている市市場の方々も都構想の動向を注視しているので、こうした課題も含め、一つでも話を進めていただきたいと府に要望。

口高架下冷蔵庫への閉じ込め
９月17日(木)、場内従事者が高架下冷蔵庫内に閉じ込められた。今後に向けて、退庫時における目視と呼びかけ、庫内通報用スイッチの位置と使用方法の確認、手動開錠の方法の確認の周知徹底をお願いする。

【議長】開錠訓練をしてほしい。

口仏ヴァルドワーズ県訪問団視察
11月5日(木)９時00分来場。

■管理（センター）からの報告

■活性化事業

口ハード事業

◆２号線時間帯通行規制標識看板設置
⋎旧中間処理施設（新製氷機設置場所外壁14号線側アイスマン看板下）
⋎ファミリーマート店舗裏側（緑地帯 EV 看板上）

口ソフト事業

◆大学連携
⋎追手門学院大学学園祭
［11／１（日）～２（月）］
大阪産PR
大阪産青果物を使用したメニュー販売

【常駐代表者】大阪産PRの内容は。
【管理（センター）】季節の野菜を使ったレシピを検討している。

◆市場見学・視察研修
・高槻市立土室小学校３年生［11／６（金）９時00分～］
・寝屋川市立国松緑ケ丘小学校５年生［11／13（金）９時00分～］

次ページに続く

衛検だより

知ろう！防ごう！食中毒 ～令和7年食中毒発生状況～

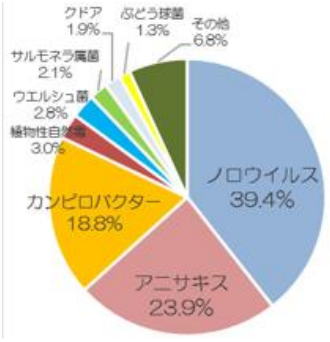
【食中毒を知ろう】

○食中毒発生状況

新型コロナウイルス感染症の発生以降、全国の食中毒の発生件数及び患者数は減少傾向にありましたが、令和5年から増加に転じています。令和7年は、発生件数1千172件（令和6年比135件増）、患者数2万4千727人（同1万498人増）となり、いずれも大幅に増加しました。発生件数、患者数ともに令和以降で最多となっています。

○病因物質別食中毒発生状況

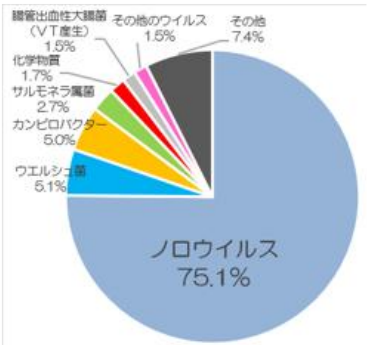
令和7年の食中毒事件数は、ノロウイルス、アニサキス、カンピロバクターを原因とする食中毒で全体の8割を占めています。また、患者数はノロウイルス食中毒だけで全体の4分の3を占めており、中には患者数が2千人を超えた事件もありました。



令和７年病因物質別食中毒事件数（全国）

○ノロウイルスは不動の一位

ノロウイルス食中毒の患者数は、20年以上連続で第一位です。ノロウイルスは、11月頃から流行しはじめ、冬季にピークを迎えます。そのため、食中毒の事件数もこれからさらに増えてくると予想されます。ノロウイルスは感染力が高く、少量のウイルスでも食中毒を引き起こすことがあります。最近の事例としては、群馬県内の魚介類加工施設で処理されたマグロとサーモンの刺身を原因とする食中毒事件が発生しました。



令和７年病因物質別食中毒患者数（全国）

【ノロウイルス食中毒を防ごう】

ノロウイルス食中毒を防ぐために、「ノロウイルス食中毒予防の4原則」を守り、予防策を立てて実行しましょう。

①「持ち込まない」

・二枚貝を生で食べることを避け、ノロウイルスに感染しないよう気をつける

・嘔吐や下痢などの症状がある場合は、食品に直接触れない

②「拡げない」

・トイレの後、調理前などは、石鹸を使って手を洗う

・使用した調理器具は、洗浄消毒（煮沸や塩素系漂白剤）する

③「やっつける」

・加熱調理する食品は、中心部が85～90℃、90秒以上で加熱する

④「つけない」

・感染しても症状が出ない人もいるため“感染しているかもしれない”ことを意識する

・調理前、トイレの後は、特に丁寧に手を洗う

ノロウイルスはアルコール消毒が効きにくいため、手洗いで物理的にウイルスを洗い流すことが重要です。ノロウイルス食中毒のほとんどが、手洗いが不十分だったことによる調理従事者の手指等を介した二次汚染が原因です。ノロウイルス食中毒予防の4原則「持ち込まない」、「拡げない」、「やっつける」、「つけない」を実行していただき、調理従事者の健康管理や手洗い2度洗い）を重点的に行うことが効果的です。

※グラフは厚生労働省食中毒統計資料を基に作成したものです

府HP「ノロウイルスによる食中毒を防ごう！」

高架下冷蔵庫　閉じ込め脱出訓練

標記訓練が次のとおり実施されます（２面参照）。

日時：①11月４日(水)AM 9:00～9:30
②11月６日(金)AM 9:00～9:30
場所：高架下冷蔵庫(S-10)
内容：通報用スイッチの位置確認及び使用方法
脱出用レバーの位置確認及び使用方法
主催：大阪府、管理センター、北冷センター

卸売業者取扱高

《9月》

	種類	数量（kg）	前年比%	金額（千円）	前年比%
青果計	野菜	10,055,520	95.1	2,836,066	90.6
	果実	3,608,158	95.7	1,971,974	96.7
	小計	13,663,678	95.2	4,808,039	93.0
水産物計	生鮮水産物	1,116,846	68.1	1,467,693	84.5
	冷凍水産物	160,985	99.0	260,638	105.3
	加工水産物	604,192	87.9	827,376	87.1
	冷凍食品	311,969	105.3	219,013	114.7
	小計	2,193,992	78.7	2,774,719	88.8
総計		15,857,670	92.5	7,582,758	91.4

《4月～9月・累計》

	種類	数量（kg）	前年比%	金額（千円）	前年比%
青果計	野菜	60,734,106	97.0	16,547,840	98.0
	果実	22,471,048	101.4	11,165,584	101.2
	小計	83,205,154	98.1	27,713,424	99.3
水産物計	生鮮水産物	6,821,274	86.7	8,594,749	99.4
	冷凍水産物	877,137	98.5	1,447,711	103.2
	加工水産物	3,939,058	103.9	5,742,131	105.3
	冷凍食品	2,014,123	109.7	1,389,524	117.3
	小計	13,651,592	94.9	17,174,116	102.9
総計		96,856,746	97.7	44,887,540	100.6

《管理センターとりまとめ》

飛騨のおいしさと笑顔が集まる「飛騨うまいもん市」

10月4日(日)、尼崎市の杭瀬スタヂオで「飛騨うまいもん市」が開催されました。

この催しは、市場と産地、地域をつなぐ取組みです。ご当地岐阜県から、JA関係者や生産者の皆さんにもご参加いただき、飛騨のおいしさを消費者へ直接届けるとともに、交流を深める一日となりました。

スタヂオ2階では、追手門学院大学経営学部村上ゼミの学生が飛騨野菜のイラストを使った食育輪投げを実施。子どもたちが輪を手に挑戦する姿も見られ、親子で楽しめるひとときをお届けしました。

また、全国豊かな海づくり大会の府内開催を翌月に控え、スタヂオ内にポスターを掲示するとともに、ご来場の皆様に対し、府から提供されたPRグッズを配付しました。

食育フェスタに大阪府中央卸売市場が出展しました

茨木市文化・子育て複合施設“おにクル”で9月26日(土)に開催された「食育フェスタ」において、「大阪府中央卸売市場」及び「第45回全国豊かな海づくり大会～魚庭(なにわ)の海おおさか大会～」(11月14日・15日大阪府開催)のPRを行いました。当日は、双方にまつわるクイズに参加いただき、「全国豊かな海づくり大会」のノベルティーを配布しました。あいにくの雨にもかかわらず、約150人の来場があり、楽しいクイズでわかりやすくPRができました。

たばこのルールに関する研修会の開催【水産組合】

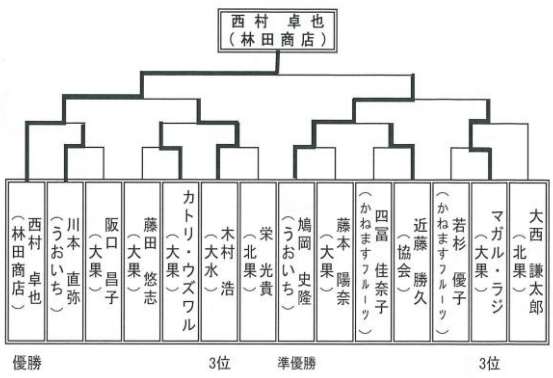
10月9日(金)、水産組合理事会に茨木保健所久米保健師をお招きし、受動喫煙防止をはじめとする「たばこのルール」の研修が行われ、9名の皆様が受講されました。この研修は、茨木保健所ご協力のもと、喫煙ルールが守られたきれいで安全な市場づくりの一環として実施されたものであり、11月17日(火)には、青果組合でも実施することが予定されています。

小学生の社会見学

9月28日(月)、高槻市立冠小学校3年生の児童と引率者計51名の皆様が市場を見学されました。また、10月19日(月)、茨木市立彩都西小学校3年生の児童と引率者計109名の皆様が市場を見学されました。ともに、魚や野菜の仕入れや販売、市場の仕組みを勉強されました。

卓球大会

決勝戦！



10月16日(金)、管理棟7階で第9回卓球大会が開催されました。参加者は14名、うち女性が4名、全試合とも熱戦の中、西村卓也さん(林田商店)が無双の9連覇を達成されました。準優勝は鳩岡史隆さん(うおいち)、第3位は木村浩さん(大水)とマガル・ラジさん(大果)でした。花木福利厚生部会長(大水支社長)から、賞状と副賞が授与されました。

場内一斉　大掃除

9月25日(金)、場内一斉大掃除を行いました。残暑厳しい中、皆さん、お疲れ様でした。次は11月27日(金)です。11時00分からは2階プラットフォーム側溝の清掃も行います。皆様のご協力をお願いします。

計量検査

10月1日(木)から同5日(月)の間、水産仲卸38社と三十三会所属3社が所有する111台の計量器に対し、計量士による検査を実施しました。早朝からのご協力、有難うございました。

・茨木市立耳原小学校3年生［11／16（月）9時00分～］
・青森県つがる市農業委員会［11／13（金）9時00分～］
・梅花女子大学食文化学部管理栄養学科食品衛生学検査実習［11／13（金）9時50分～］

【常駐代表者】市場見学が頻繁に実施されており、場内美化に取り組もう。特に、腐敗物を残置しないよう心掛けよう。

【管理（センター）】児童の引率教員から吸殻のポイ捨てを指摘される。管理（センター）で事前回収に努めているが、皆さんのご協力をお願いする。

■ごみ関連

□不法投棄

◆9月発生件数：2件（青果外周に事務イス等）

▼発見次第、防犯カメラ映像により確認を実施し、投棄者による自主回収を指導。

▼悪質な持込投棄・不法投棄については、入場禁止等の行政処分を実施するとともに、警察へ通報（2件立件）。

※入場禁止処分歴のある事業者の不法投棄に対し、弁明の機会を与え、入場禁止処分（10月13日～26日）を発動した。今後、当該者の入場を把握された際、直ちに管理（センター）まで通報をお願いする。なお、茨木警察署において、刑事事件として立件に向け捜査中。

□青果くず排出状況［○は前年度同月比］

◆9月単月実績

▼排出量5398トン（▲17.79トン、▲248％）

▼処理費用（税抜）116万570円（▲38万2千485円、▲24.8％）

◆4～9月の累計

▼排出量41786トン（▲9.74トン、▲2.3％）

▼処理費用（税抜）898万3千990円（▲20万9千410円、▲2.3％）

※大量排出は事前に管理（センター）まで連絡を（受け入れ態勢及び食品ロス削減）

□木製廃棄パレット排出状況［○は前年度同月比］

◆9月単月実績

▼排出量4千420枚（▲1千190枚、▲46枚／日、▲21.2％）

▼処理費用（税抜）48万2千280円（▲10万2千165円、▲17.5％）

1日平均221枚

◆4～9月の累計

▼排出量2万9千920枚（▲2千40枚、▲6.4％）

▼処理費用（税抜）323万8千50円（▲6万2千160円、▲1.9％）

◆10月実績（10／1～10／10）

▼排出量1千870枚（±0枚）

※外部からの持ち込み禁止、利用可能なパレットの再利用の徹底を。

□一般廃棄物排出状況［○は前年度同月比］

◆9月単月実績

▼排出量993トン（▲389.6トン、▲28.2％）

▼処理費用（税抜）81万2千455円（▲31万8千764円、▲28.2％）

◆4～9月の累計

▼排出量5779トン（▲2209トン、▲27.7％）

▼処理費用（税抜）472万7千373円（▲180万8千918円、▲27.7％）

◆10月実績（10/1～10/10）

▼排出量356.4トン（▲291トン、▲7.5％）

■禁煙対策

◆R8年度ルール違反の状況（9/1～9/30）

▼売場等における警備及び大阪府査察職員による注意指導　水産：5件、青果：0件

4～9月の累計

▼通告書交付（違反者）5件、累計406件［場外110件］

▼警告書交付（再違反者）0件、累計32件▼更に累犯で入場禁止

▼場内全エリアでカメラによる喫煙状況の確認を継続実施。

▼仲卸事務所内で喫煙していた青果・水産の各1店舗に対し、管理（センター）から注意指導を行った。

▼府作成の啓発ポスターをラミネート加工したので、活用願う。

■交通安全対策

□場内交通事故（4～9月）

人身事故	3件	（1件）
物損事故	26件	（22件）
うち市場施設の物損※	10件	（9件）
うち車両同士の衝突	16件	（13件）
合計	29件	（23件）

（）内はR7年度の件数

※9月のトラック車両等による市場施設の物損事故＝1件。
➢近郊売場東側道路パレット置場ポール破損

■鳥獣対策

□カラス対策

▼捕獲数（4/1～10/13）477羽

■協会からの報告

□安全部会からのお知らせ（西田部会長）

11月27日（金）は場内一斉大掃除。同日、午前11時00分から2階プラットフォームを清掃。側溝に残置された大量の吸殻が、今年は改善されていることを期待。喫煙マナーが守られ、安全できれいな市場となるようご協力をお願いする。11月9日（日）から15日（日）は秋の全国火災予防運動。防火意識向上への指導・教育をお願いする。

【管理（センター）】2階プラットフォーム側溝清掃は、青果・水産とも、ご参加をお願いする。

■衛検からの報告

令和8年度第2四半期（7月～9月）において、104件の検体に対し細菌検査、理化学検査、食品表示の確認を実施したところ、食品衛生法及び食品表示法違反となる食品はなかった。

府の指導指針からの逸脱については、加工製品で一件あったので、製造者に対し改善指導を行った。

■場長から

当市場に対する議会の関心が高まっている。特に、再整備はご心配をいただいておりできることをしっかりと対応して行きたい。

喫煙マナーは、工夫し一定の効果は出ていると思うが、最も重要なのは全ての場内従事者に対する意識づけを継続することだと思う。道頓堀ビル火災では、救助をする側の消防士が亡くなるという残念な結果が生じた。当市場内で人命に関わるような事態を生じさせてはならない。場内一致して取り組むよう皆様の積極的なご協力をお願いする。

高架下冷蔵庫内閉じ込め事案
9月25日付け市場長通知の要点

1. 事案の概要

・高架下冷蔵庫は、毎日 15 時以降に警備員が施錠。9月17日も警備員が施錠前に庫内の残留者を確認したところ、業者Aが作業中であったため、業者 A に作業終了後の施錠を依頼。その後、業者 A が作業を終了し、施錠。

・しかし、まだ業者 B が庫内にて作業中であったことから閉じ込められた。閉じ込められた業者 B が、庫内の通報用スイッチを押したことで発覚し、駆けつけた警備員が救助した。

2. 再発防止策

高架下冷蔵庫を 15 時以降に使用する利用者は以下の事項を必ず守ること。

① 冷蔵庫を施錠する際は目視及び口頭で呼びかけを行い、残留者がいないことを確認すること。

② 利用者は庫内に設置されている通報用スイッチの位置及び使用方法を必ず確認しておくこと。

庫内に閉じ込められた場合に、自力で解錠し退出する方法を必ず確認しておくこと。その場合も、①のとおり残留者がいないことを確認した上で施錠すること。